

## 准看護、看護学科 節目の記念式典

市医師会専門学校

弘前市医師会看護専門学校（澤田美彦学校長）は7日、弘前市のホテルニューキャッスルで、准看護学科創立60周年、看護学科創立50周年を記念する式典を開いた。出席者は、今後も優



れた看護人材を育成し、地域医療に貢献していくことを誓った写真。

同校の准看護学科（修業期間2年）は、准看護師の養成を目的に1959年に開設。これまで約4千人の人材を輩出してきた。看護学科（同3年）は、准看護

師にさらなる知識と技術を習得させるため69年に開設。学生は日中、准看護師として働き、夜間に授業を受けている。これまで約1500人の卒業生を送り出してきた。

式典には学生約280人を含む約400人が出席。澤田学校長が式辞で、放送大学との連携によるWスクール制度導入（2015年）などの取り組みを振り返り「地域における役割を認識し、さらに発展させたい」と述べた。

今村憲市・市医師会長は、両学科とも、優れた看護職員を養成する目的で医師会が設立したことを説明。「地域医療の担い手として、今後も活躍することを期待する」とあいさつ。桜田宏・弘前市長、齊藤勝・県医師会長、桎谷京子・県看護協会長も同校の長年の取り組みと功績に敬意を示した。

この後、実習施設として同校に協力した医療機関や福祉施設、講師として長年貢献した関係者に感謝状が贈呈された。最後に出席者全員で校歌を斉唱し、人々の健康と幸福のために貢献していく気持ちを新たにしていた。

（菊谷賢）